

## 2024年度 事業計画（案）

新型コロナウイルス感染症の5類移行を受けて、経済活動の正常化が進展しました。ほぼすべての産業において人手不足から賃金上昇が進んでいます。また、今後も労働需給バランスから賃金は上昇し、コスト転嫁による物価上昇から国内経済成長は続くと予測されます。

一方で世界経済の視点では、長引くウクライナ戦争や中東紛争、中国経済の低迷、欧米の金融引き締め継続などの要因により、景気の後退が予測されています。不確実で舵取りの難しい年になると感じます。

ボディファッション業界の視点から見ると、まだまだ国内景気回復の動向に乗り遅れている感があります。エネルギーや食品などの価格が高騰する中、消費者の購買動向は高付加価値商品と値ごろ感のある商品との消費の二極化が顕著となっています。コロナ禍で低価格化が浸透した実用衣料は回復が遅れ、消費者の潜在ニーズを掘り起こした付加価値の高い商品は伸長すると予測されます。

日本ボディファッション協会は、新年度の重点活動項目として、①事業安定継続のための人材の確保、②将来を見据えた人材育成、③サステナビリティ推進を掲げ事業活動に邁進してまいります。特に喫緊の課題である繊維産業の「特定技能制度」移行に向け、会員企業にとって有益な情報の収集・発信に努めていきたいと考えております。

会員の皆様のご理解ご協力の下、協会設立時の目的でもある会員交流の場を通して会員相互の信頼関係の強化を図り、サプライチェーン全体で責任を共有することでボディファッション業界の更なる発展に貢献してまいります。

## 基本方針

### 1. コンプライアンス

関連法規の遵守を全ての活動の規範とし、目先の利益にとらわれることなく、社会的ルールや慣習等を含め、法令に準じて良識ある対応を行います。

また、法令の内容そのものが、国際化の進展や商慣習の変化に伴い、現実にそぐわなくなってきた場合は、会員各社に不利益のないよう、速やかに行政への陳情や善処の要請を行います。

なお、重要な情報資産についても、有効な安全管理対策を講じ、情報セキュリティの更なる向上に努めます。

### 2. 品質の維持向上

品質とは、お客様に対して製品の信頼性を保証することであり、良い製品を作り出すことこそ、品質の根本理念であると考えます。

“あんしん”と“信頼”のNBFマークを付帯する製品は、一点の不良品も出さないという強い信念のもと、品質の維持向上に努めます。

### 3. お客様との接点の強化

ボディファッション業界の将来は、お客様との関わり方や、その接点のあり方にかかっていると云っても過言ではありません。

「お客様が求めているものは何か」常に変化するお客様の声を、的確に製品づくりに反映するのはもちろんのこと、インナーウエアの世界観や着こなしなど、様々な施策を通じて積極的に接点の強化を図ります。

### 4. 人財の育成

販売やモノづくりなど、ボディファッション業界の諸活動において、知恵や創意工夫により、様々な成果を生み出すのは「人」であり、当協会も人の歴史の上に成り立っています。

今後も長期的な視野で、業界の発展に貢献できる人財の発掘・育成を基本としながら、定例の試験に加え商品企画人財育成講座を継続するなど、人財育成に努めます。

## 重要取組テーマ

### 1. 人材の確保

下着類製造業を含む日本の繊維産業が、特定技能制度に分野追加されることが決定しました。それに伴い、特定技能外国人を受け入れる企業は様々な条件をクリアする必要があります。

また、今後は現状の「技能実習制度」が廃止され、「育成就労制度」に移行予定です。その際の具体的な制度の見直しや条件等は、今後議論されることとなります。関連する業界団体との密な情報交換、行政対応等、会員の皆様に必要な情報を漏れなくタイムリーに提供できるよう活動してまいります。

### 2. 人財の育成

業界全体の発展を目指し、将来ボディファッション業界を目指す人財を育成するため、NBF会員企業のご協力の下、教育機関と連携しながら体制を構築してまいります。また、会員企業の従業員育成において、知的財産権など各種法知識に関連する情報発信やセミナーを開催し、コンプライアンス意識を高めることに取り組みます。さらに、海外トレンドなどの商品企画関連情報も発信してまいります。

### 3. サステナビリティ推進

会員企業のサステナビリティに対する取り組みをサポートしてまいります。政府が進める「環境配慮型設計商品」の品質基準等を検討し、対応することで市場における優位性の確保を目指します。また、国際的な労働力獲得競争に乗り遅れないよう、人権問題への取組意識の向上に努め、安心して働ける業界を目指してまいります。

## 事業活動

### 1. 品質関連事業

- ① J I S規格関連及び行政の各種委員会へ参画
- ②品質管理委員会による品質基準の確認・検討・修正
- ③品質管理ハンドブックの改定(内容変更・追加等)
- ④試買テストによる製品の品質チェック
- ⑤会員企業の品質検査料割引サービス（日本繊維製品品質技術センター）窓口

### 2. 人材育成事業

- ①商品企画人材育成講座の運営（於：上田安子服飾専門学校）
- ② I A認定試験の運営方法見直し検討及びテキストブック改訂第6版作成
- ③外国人技能評価試験事業運営と財政安定化推進（「財政安定化積立基金」設置）
- ④各種セミナーの企画・運営

### 3. 情報発信事業

- ①機関紙「和魂洋才」による協会及び会員情報発信
- ②『ピンクラビット』によるSNS情報発信
- ③行政関連情報の収集・発信
- ④ホームページ各種情報のアップデート
- ⑤メディアへの業界情報発信強化(ニュースリリース等)

### 4. 会員相互の交流及び会員サービス事業

- ①新年賀詞交歓会の企画運営
- ②N B F会員懇親会開催による会員相互交流推進
- ③講演会、各種セミナー企画運営
- ④会員企業の一般顧客対応取次サービス

### 5. 社会的課題対応事業

- ①繊維産業関連・流通等各種業界団体との交流・協力推進
- ②行政対応（取引適正化・物流24年問題・手形廃止等）の取組推進
- ③環境配慮型素材及び設計・フェムテック等社会課題対応製品の基準検討
- ④循環型リサイクルハンガー定着・推進
- ⑤災害時支援活動（政府対応窓口）